

# JCI HIKONE

一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ！

## 近畿地区大会 彦根大会 7月3日 開催！

一心不乱！ 2021地区大会 in ひこね！  
実行特別委員長 山田雅崇 インタビュー

一心発起！ TAKE ACTION！  
～本と人をつなぎ隊～ 久保田 吉則 氏

発見！ひこねの魅力体験記！  
夢京橋キャスルロード×四番街スクエア



写真：近畿地区大会実行特別委員会  
委員長 山田雅崇

# 一心不乱！ 2021地区大会 in ひこね！

×

## 一心同体！ 夢、希望溢れる同志たち！

今回は2021年7月3日に満を持して開催される「近畿地区大会 彦根大会」の直前インタビューとして、近畿地区実行特別委員長 山田雅崇、君に今の想いと大会への意気込みを聞かせていただきました！ 新型コロナウイルス感染症の影響下により例年通りの大会が開催できない今、私たちが為すべき事とは…！？ そして大会目前の彦根青年会議所の覚悟とは…！？



近畿地区大会実行特別委員会  
委員長 山田雅崇 君

**質問：**近畿地区大会彦根大会開催まで残り約1ヵ月となりましたね！まずは改めて近畿地区大会とはどういった大会なのか？お聞かせください。

**山田：**近畿地区大会とは、近畿地区圏内の94青年会議所が一堂に会する大会となり、地域住民の方々を含め例年2000人以上もの人々が集まる大事業です。大会は大きく分けて3部構成。一つは大会の式典、そして学びの場となるフォーラム、そして地域の魅力を発信するフェスタ。青年会議所会員はもとより、地域にとっても非常に大きな意味を持つ大会であると言っても過言ではありません。

**質問：**彦根青年会議所にとっても、地域にとっても大きな可能性を秘めた大会というわけですね。

**山田：**その通りです。ただ…非常に残念なことに、先日「フェスタ」の中止が正式に決定しました。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、人を大々的に集めるフェスタ事業に関しては、中止せざるを得ませんでした。

**質問：**非常に難しい決断であったと思います。最後まで形を変え、彦根の魅力を発信する手段を模索しておられたとお聞きしています。

**山田：**フェスタが出来ずとも、なんらかの形で地域の魅力を発信したい！地域のために式典とフォーラム以外のところで、何かを為したいと考えていましたが、県内の感染状況や大会までに残された時間などを考慮した時、やはり難しい部分がありました。

**質問：**その決定に対して、今の正直なお気持ちを教えてください。

**山田：**本当に悔しいです。私は去年、地区の委員長として出向しておりました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響により、当時の和歌山大会は中止となりました。本年度も同感染症の影響により、フェスタ開催が無くなったことは、正直残念でなりません。大会はフェスタだけではありませんが、それでもやはり地域の魅力を大きく発信するチャンスであったフェスタの中止という決定はショックでした。しかし大会自体は中止されていません。まだまだ私たち彦根青年会議所には為すべき事があります！



大会の打ち合わせを重ねる彦根JCメンバー

**質問：**それは式典とフォーラムですね。

**山田：**そうです。近畿地区大会の主管LOMとして、設営にしっかりと携わり、彦根青年会議所としての責務を全うしなくてはなりません。フェスタが中止となっても、近畿地区94LOM、青年会議所の注目が集まる大会であることには変わりありません。彦根のしっかりとした姿を見せなければいけません！

**質問：**それは彦根青年会議所、ひいては地域のためでしょうか？

**山田：**その通りです。私たちが活動する地域「彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町、それらの地域の責任世代が相集う彦根青年会議所です。お出迎えの精神を發揮し、立派な姿を近畿に見ていただく必要があります！その姿が、いつか必ず、何らかの形で次に繋がると考えています。

**質問：**この経験は次に活かすことができる、という事ですね。



世界遺産登録を目指す  
国宝 彦根城

**山田：**私たち彦根青年会議所にとっても、近畿地区協議会にとっても次に活かし、繋げることができます。まだ彦根大会は終わっていませんが、今の努力は決して無駄ではなく、来年以降の大会設営の大きな参考となることは間違いありません。そして彦根青年会議所メンバーにとっても、大きな成長のチャンスです。私たちの成長は、地域活性化の推進力となるものと信じています。

**質問：**力強いお言葉ありがとうございます。最後に大会に向けて山田委員長の意気込みをお願いします。

**山田：**どんな状況下になろうとも、私たち彦根青年会議所は最後まで、自分たちの全力を持って大会に挑みます！地域の魅力を可能な限り知ってもらいたい、気付いてもらいたいという気持ちは何があろうと絶えることはありません！関わる全ての人、地域にとって何かプラスとなる大会となるように、しっかりと準備を進めていきたいと思っております！



全ては地域活性化のために…  
最後まで絶対にあきらめない！



# 一心発起！ TAKE ACTION！

連載記事「一心発起！TAKE ACTION！」では、地域（彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町）の活性化に繋がるACTION！を起こしている組織内外の人物や組織に取材を行い、12ヵ月に渡り記事を掲載していきます！そして6回目となる今回は「まいばら 本と人をつなぎ隊、代表の久保田吉則氏にお話を伺いました。地域住民の読書離れや図書館離れが深刻な中、「本と人」を繋げるべく日々活動をしてられるその理由とは！？そこには地域活性化にも大きく関わるヒントが隠されていました！



本と人をつなぎ隊  
代表 久保田吉則氏

**質問：まず初めに「まいばら 本と人をつなぎ隊、(以下、本と人をつなぎ隊)は、どういった団体なのか教えてください。**

久保田氏(以下、久保田。敬称略)：私たちは米原市図書館協議会のメンバーを中心に、協議会への参加を通じて、米原市の読書離れや図書館離れの状況を打開すべく、米原市を中心に読書推進活動しているボランティア団体です。キャッチフレーズは、「読書で米原(地元)を元気に！」です。

**質問：具体的な活動内容を教えてください。**

久保田：まずは、市立図書館を核に「にぎわい」を創出できないか？「地域を活性化できないか？」と考え、隣接するホール等で子ども教育・伝統文化等の講演会や、スポーツ・写真展等のイベントを開催し、そのテーマに沿った本の紹介をしています。その他、市立図書館に出向くことが出来ない老人福祉施設等の入居者を対象に本をお届けしたり、こども園や学校等でお話し会や本の紹介をしたり、学校からご依頼があれば学校図書館の課題解決等、本にまつわるあらゆる活動をさせて頂いております。

**質問：「本と人をつなぎ隊」の皆さんは本業とは別に、この活動に参加されているとお聞きしています。なぜそれほどまでして読書推進活動や、図書館の活性化に尽力されているのですか？**

久保田：まず活動に参加しているみんなが本が大好きであること。そして本の魅力、読書の大切さを地域に広めたいと強く願っているからです。

**質問：本の魅力、読書の大切さとは何でしょうか？**

久保田：情報社会の発展は、社会に利便性をもたらしました。その一方で、その手軽さ故に人々が自分で物事を考える機会を減少させているというデメリットもあります。このような状況でも読書には、物事を考えたり、感じたり、想像したり、あげればキリがありませんが、それら全ての能力を上げる効果があり、結果的に「人間力」を成長させてくれるものだと思います。

**質問：実は久保田さん自身も、30歳になるまであまり本を読まなかったとか…しかしながら、一冊の本との出会いで人生が変わったとお聞きしましたが？**

久保田：そうです。私は、小・中・高校と全く本を読まず国語が大の苦手でした。そして、社会人になってからも人前で話すことが全く出来ませんでした。ところが、30歳の時にお客様より薦められた吉川英治さんの「三国志」を読んでから読書が好きになり、語彙力が上がり、文章力やコミュニケーション力が向上し、視野も広がりました。さらに、本は多様な生き方に出会わせてくれます。著名人の伝記を読めば、成功した人物がどのような人生を歩んできたのか、大事にしてきた価値観は何かなど、会ったことがない人の生き方を詳しく知ることが出来ます。また小説を読めば、主人公の生き方に限らず、主人公に大きな影響を及ぼした人物の生き方など、本には様々な生き方が描かれています。つまり、人生は苦勞や困難があるからこそ面白く、人間的にも成長できるのだということを教えてくれるのです。それほど大きな力が本にあるので、私たちは読書の大切さを広め、様々な本をおススメしているのです。



「本と人をつなぎ隊」の皆さん。左から今中氏、久保田氏、寺村氏、井上氏

**質問：もし地元の経営者たちが、多くの本に出会い、経営に対する豊かな知識や熱い想いを養えたとしたら、地域の活性化に繋がりますね。**

久保田：まさにその通りです！しかしながら、皆様からよく「何を読んだら良いですか？」という相談を受けます。そこでオススメしたいのが、経営者が愛読する本を読んでみることです。私は元銀行員で数多くの経営者にお会いしてきましたが、経営者は必ずと言っていいほど、自分の経営哲学の礎となるバイブル本をお持ちです。その本を何度も読み返すことで、様々な困難な壁を乗り越え事業を継続されています。このように本を読むことが仕事に活かせるヒントに気づく大きな近道になり、人間力を高めることにもなると思っています。そのような相談の中、今年度、私たちは地元の経営者をインタビューして、事業紹介と共に、その経営者がおススメする本を紹介する活動をしていきます。そして次の経営者にバトンをつないで頂くことによって、新たな経営者を紹介し、その経営者のおススメ本も広めていくことが出来ればと思っています。

**質問：地域の経営者による「苦勞話×おススメ本」の組み合わせは気になりますね！**

久保田：はい、この活動は地域の若き経営者や後継者たちにも参考になると考えています。また、私たちのこの新たな活動が、本に興味を持ってもらい魅力を知ってもらうだけではなく、本を介して地元の経営者と経営者をも繋ぐことになり、交友が深まり知恵を出し合ったりするきっかけ作りになれば幸いです。以上となりますが、これからも「読書で米原(地元)を元気に！」をモットーに、本の魅力や読書の大切さを知ってもらうために、本にまつわるあらゆる活動を続けていく所存です。ありがとうございました。



本の魅力を伝え広める  
久保田氏



## 発見！ひこねの魅力体験記！

連載記事「発見！ひこねの魅力体験記！」では、2市4町にある魅力スポットを彦根青年会議所メンバーが訪れ、体験した内容を記事とすることで、地域の知られざる魅力を紹介していきます！

6回目となる今回は「夢京橋キャスルロード&四番街スクエア」！彦根城を目前に情緒溢れる城下町を再現し、観光、食事、土産物、全てが揃った地域の魅力スポットです！

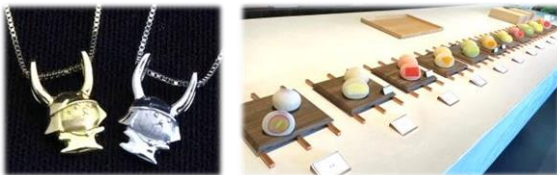
彦根城のお堀にかかる京橋からスッと伸びた一本の通りがあります。白壁と黒格子の町屋風に統一された街並みは、江戸時代の城下町をイメージし、いくつもの食事処、土産物屋が立ち並び、訪れた観光客を魅了させる。古き時代と新しい時代の薫り漂うOLD NEW TOWN…「夢京橋キャスルロード」です。

現在の夢京橋キャスルロードがある彦根市本町は、慶長8年(1603年)、彦根城築城とともに、城下町の町割りがこの本町から始められたという歴史ある町です。彦根市の街角整備事業の一環として、江戸期の建物・風情を再現した町並みにすることが計画され、1999年(平成11年)にキャスルロードは完成しました。以来多くの観光客が訪れ、彦根城と共に地域を代表する観光スポットとして人々を出迎えています。現在はコロナ禍の影響により、以前と比べれば観光客が減少したものの、その魅力が廃れることはありません。



夢京橋キャスルロードの魅力の一つは数多くの食事処です。近江牛を使用した寿司、丼、麺、揚げ物♪お洒落な洋食屋から豊富なスイーツまで♪食べ歩きができるテイクアウトメニューも豊富です。この通りを歩くだけで気付けばお腹いっぱい…。つつい食べ過ぎてしまいます(笑)

忘れてはならないスポットがもう一つあります。それは夢京橋キャスルロードに隣接する「四番街スクエア」です。四番街スクエアは「大正ロマンあふれるまち、をキャッチコピーにキャスルロードとはまた違う、モダンな外観で統一された建物、広場に設置されたガス灯など、新しくどこか懐かしさを感じれる街となっています。そして四番街スクエアには、みんな大好き彦根のスーパースター「ひこにゃん」も登場します♪



夢京橋キャスルロード、四番街スクエアともに、御土産屋さんも豊富♪ひこにゃんグッズを始め、地域の地酒、和洋折衷の御菓子、ジュエリーショップなど、老若男女問わない土産物がたくさん用意されています。観光で来た際のお土産に困ることまずありません♪

しかし何より嬉しいのは、やはり国宝である彦根城へのアクセスがし易いことでしょう。お堀は目の前。橋を渡れば歴史ある彦根城の入り口はすぐそこです♪彦根城の目前に通る「夢京橋キャスルロード&四番街スクエア」はまさに地域が胸を張っておススメできる魅力スポットでした！彦根に来た際は是非一度足をお運びください♪



## 事業・例会案内

2021年 6月 6日 : 6月度(臨時総会)例会 ~組織の人材マネジメント力を高めよう!~  
2021年 7月 3日 : 近畿地区大会 彦根大会 開催!!! (同日:7月度例会)

